

# 天草教育研究所報

題字 故野口 斌

平成28年2月17日発行 第141号

発行所 天草教育研究所  
編集発行人 武藤 隆士  
印刷 中野印刷  
22-5044

## 教育研究所努力目標：「生きる力」をはぐくむ、児童生徒活動の振興と教職員研修の充実



### お礼のことは

天草教育研究所  
副所長 本渡北小

中村 康敬

天草教育研究所の諸事業につきまして、日頃からご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本年度も多くの成果を残して、予定された事業を終えることができました。これもひとえに各市町長様、教育長様、関係諸団体の温かいご支援やご協力のたまものであると心から感謝致しております。

さて、天草教育研究所では、本年度は「生きる力」をはぐくむ、児童生徒活動の振興と教職員研修の充実」を努力目標として活動を進めてまいりました。

研修の充実につきまして、各部会や各部門での研修が積極的に行われ、教職員の授業力向上をはじめとする専門性の向上につながったと思っております。本年度は、第六十四回全国へき地教育研究大会熊本大会が熊本県各地で開催されました。天草においては、維和中小学校を会場として授業公開、研究発表がなされ全国から多くの先生方にお

いでいただき、大きな成果を残すことができました。児童生徒活動の振興におきましても、全ての事業を予定どおり終了することができました。体育関係の大会、文化展、音楽会、英語発表会等で児童生徒が活躍し、県レベルでも天草の児童生徒の活躍が目立ちました。これも先生方の日々の熱心な教育実践のおかげであると思います。

ところで、天草では児童生徒数の減少、小中学校の統廃合が進んでいます。このような中で、天草教育研究所としまして、研修や児童生徒の文化関係、体育関係の諸活動等の在り方について改善を加えてきたところでは、研修や各事業の課題を解決しつつ、その効果を最大限に引き出せるように、今後も改善に努めたいと考えています。

各市町長様、教育長様の引き続きのご支援をはじめ先生方のご協力をお願いしまして、お礼の言葉と致します。

### 新採一年を経て



小論 美 村 阿 希  
養 榮 福 吉 希

四月に本校に赴任し、あつという間に一年が経ちました。初めは何をしていいかも分からず不安だらけでした。その中でもやって来られたのは、周りの方々の支えとご協力のおかげです。本当に感謝しています。

食べることは「生きる」ことの基本です。この一年、給食を通して、食の大切さやマナー、自分自身の健康

管理など、子どもたちに伝えられるよう取り組んできました。今後は、食育の基本である「食べることへの興味」をさらに引き出すような給食管理と指導を行っていくことが目標です。

栄養教諭としての初任の年に、たくさんの方の経験させてもらいました。初任として、いろいろなことを経験させて

いただいた、一年前に比べて大きく飛躍できた一年となりました。仕事がうまく捗らず、ご指摘を受けることもありましたが、先生方や保護



中論 健 介  
職 務 本 森

有明中学校に赴任してから、もうすぐ一年が経ちます。「信頼される事務職員になる」ことを目指して、様々な業務に取り組んで

ましました。周りの方々から信頼を得るためには、適切に、丁寧

に事務処理を行っていくことが大切だと考えています。しかし、限られた時間の中心を取り組まなければなら

「相撲で有名な」といって言われて、佐伊津小学校に挨拶に行つた時のことは、今でも鮮明に覚えています。「担任をもてる」という期待に胸を膨らませ、子どもたちとの学校生活を送つてもうすぐ一年になります。初任として

いろいろなことを経験させて

いただいた、一年前に比べて大きく飛躍できた一年となりました。仕事がうまく捗らず、ご指摘を受けることもありましたが、先生方や保護



小論 大 将 津 伊 中  
教 諭 田 中

者の方々にご協力いただき、充実した日々を送ることができました。

昼休み、教室で子どもと話をすると、運動場で一緒に走り回つたときは、自分が教師であるというのを忘れてしまつくらい楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちの純粋な気持ちを間近で感じる事ができたことは、私にとって大きな財産です。

これからも、子どもたちの生活を楽しみながら、年度当初に掲げた、教員としてのスキルアップを常に意識して、日々成長していきたいと思



中論 美 惠  
教 諭 夫 美 惠

四月に峇北中学校に赴任して早いもので一年が経ちます。今までの社会人としての経験を教育の現場で活かせるのかという不安と、中学生との関わりに期待を

感じていたことが昨日のことのようです。今では保健室に会いに来てくれる生徒もおり、充実した毎日を過ごせています。

時には生徒への指導がう

まくいはず悔し涙を流すこともありました。しかし、まわりの先生方がいつも気にかけて、話を聞いてくださったおかげで失敗も自分の学びに変えることができました。今は養護教諭としての自分の力不足を感じる日々ですが、生徒が自分自身の健康を管理できるよう、目標を持って健康教育に取り組んでいきます。これからも笑顔と感謝・初心を忘れないよう、養護教諭として成長していきたいです。